

鼓隊演奏を通して育まれたもの

対象 年長児 作成者 進藤早苗
作成日 2019年9月26日(木)

保育のねらい：いろいろな楽器の音を楽しみ、友達と一緒に演奏する楽しさを味わう。



保育の振り返り

鼓隊演奏に向けて、1学期よりリズム遊びをしたり、実際に演奏で使用する楽器を手に触り、いろいろな音を出しリズムを作ったりしながら遊びその心地良さを十分に味わうことから始めていきました。(豊かな感性と表現)

楽器の担当を決め、自分が挑戦する楽器に期待を十分に抱きながら迎えた2学期、各パートに分かれ音だしをしていきました。鼓隊の準備としてベルトをつけたり楽器を運ぶことをします。大きな楽器は重く、一人では運べずにいると友達が一緒に持ち協力してくれる姿も見られました。音出しをし、終わった後は片付けも自分たちでし、次に使用する時に使いやすいようにすることや、楽器を大切に扱うことも皆で気を付けてきました。(言葉による伝えあい・協同性、道徳性・規範意識の芽生え・思考力の芽生え) 今では、「鼓隊するけん片付けしよう」「ベルト忘れてるよ」等子どもたち同士で声をかけあったり自分で気をつけたりして見通しを持った行動が出来るようになりました。(健康な心と体) 運動会では、広いグラウンドで風の心地良さを感しながら、演奏することを楽しんでほしいです。そして沢山の方に見守られ、応援されながら演奏出来ることも楽しい思い出として子どもたちの心に残っていけるよう私自身楽しみ一緒に共有していきたいです。